社会福祉法人 京都市山科区社会福祉協議会

平成28年度

事業報告書

I 総括	1
Ⅱ 事業の概要	2
1 法人運営	2
2 企画広報事業	7
3 ネットワーク事業	1 0
4 学区社会福祉協議会支援事業	2 0
5 ボランティアセンター事業	2 3
6 セーフティネット事業	2 9
7 生活支援事業	3 2

社会福祉法人 京都市山科区社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

I 総括

第3期地域福祉活動計画のもと、社協をめぐる状況や京都市社協の方針を踏まえつつ、「生活課題の解決や孤立防止」に向けて、総合事業への対応を柱とする取組を進めました。

(1)「新しい助け合い活動」の推進

平成29年4月から始まる総合事業に対応するため、地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービス等の提供体制を構築する「京都市地域支え合い活動創出事業」が、平成28年5月から京都市社協に委託されて始まりました。一人暮らしの高齢者や支援を必要する高齢者が増加し、多様な生活支援ニーズへの対応が必要とされる中、医療や介護だけでなく、ボランティアやNPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援サービスを提供していく体制づくりを進めるために「地域支え合い活動創出コーディネーター」が各区社協に配置されました。

各区社協で実施することを検討していた、契約に基づき要支援者等に生活支援サービスを提供する「区お助け隊」は、京都市や京都市社協の動向を踏まえ、区社協では実施しないこととなりましたが、地域での支え合い活動として、高齢者のちょっとした困りごとの解決に取り組む「ちょいボラ」の展開を図ることとしています。

(2)「新・地域の絆づくりモデル事業」の実施

学区社協活動のこれまでの成果を踏まえ、孤立防止や介護予防・認知症予防及び困りごと対応の取組の拡充を目指す、「新・地域の絆づくりモデル事業」として、高齢者が気軽に集まり、孤立防止や介護予防・認知症予防を普及させるとともに、男性高齢者も参加しやすい場「すこやかカフェ」の開設と運営を行うモデル学区に音羽学区を選定し、実施しました。平成29年度からは、フリースペースとして活動を展開することとなりました。

Ⅱ 事業の概要

1 法人運営

(1)会議

理事会 (5回)、評議員会 (4回)、監事会 (1回)の基本会議に加え、役員改選にかかる各部会と、社会福祉法人制度改革により新たに設置した評議員選任・解任委員会 (1回)を開催しました。また、区社協の意志決定及び事業執行を組織的に行うために、正副会長会議 (12回)、学区社協会長会議 (6回)を定例で開催するとともに、組織、事業、財政強化のために、企画委員会 (1回)、財務委員会 (2回)を開催しました。

①正副会長会議

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 4 月 12 日 (火)	区社協	1. 各事業報告 2. 平成 28 年度事務局体制について 3. 理事・評議員の交替について 4. 会員名簿について 5. 平成 28 年度賛助会員募集活動について 6. 企画委員会について 7. 助成の公募について 8. 新・地域の絆づくりモデル事業について 9. 事業日程について 10. その他 11. 当面のスケジュール
平成 28 年 5 月 13 日 (金)	区社協	1. 各事業報告 2. 平成 27 年度事業報告・決算について 3. 第 1 回理事会・第 1 回評議員会にについて 4. 第 1 回学区社協会長会議について 5. その他 6. 当面のスケジュール
平成28年6月8日(水)	区社協	1. 各事業報告 2. 「新地域の絆づくりモデル事業」について 3. 「地域支え合い活動創出事業」について 4. 第 1 回財務委員会について 5. 地域福祉推進セミナーについて 6. その他 7. 当面のスケジュール
平成 28 年 7 月 12 日 (火)	区社協	1. 各事業報告 2. 地域福祉活動実践交流会について 3. 第 2 回学区社協会長会議について 4. 第 1 回企画委員会について 5. 共同募金配分金助成金交付説明会について 6. 第 22 回山科社会福祉大会について 7. 新地域の絆づくりモデル事業について 8. 任期満了に伴う役員改選および法改正について 9. その他 10. 当面のスケジュール
平成 28 年 8 月 9 日(火)	区社協	1. 各事業報告 2. 平成 29 年度社会福祉予算対策活動について 3. 区社協会長表彰候補者の推薦について 4. 第1回企画委員会について 5. 任期満了に伴う役員改選について 6. 次期の理事・評議員・監事候補者の会長推薦について 7. 役員研修会について 8. その他 9. 当面のスケジュール

平成 28 年 9 月 13 日 (火)	区社協	1. 各事業報告 2. 学区社協会長会議について 3. 第 2 回理事会・第 2 回評議員会について 4. 第 3 回理事会について 5. 委員会の見直しについて 6. 山科福祉大会について 7. 機関紙 Be-Vo (通常号) について 8. 山科区総合防災訓練の実施について 9. その他 10. 当面のスケジュール
平成 28 年 10 月 11 日(火)	区社協	1. 各事業報告2. 山科福祉大会について3. 委員会の見直しについて4. 第 4 回理事会・第 3 回評議員会について5. 機関紙 Be-Vo (通常号) について6. その他7. 当面のスケジュール
平成 28 年 11 月 8 日(火)	区社協	1. 各事業報告 2. 第 22 回山科区社会福祉大会について 3. 第 4 回学区社協会長会議について 4. 第 4 回理事会・第 3 回評議員会の開催について 5. 健康すこやか学級・ちょいボラ・区お助け隊について 6. 会員の拡大について 7. チャレンジ就労体験 体験先の新規開拓について 8. その他 9. 当面のスケジュール
平成 28 年 12 月 13 日(火)	区社協	1. 各事業報告 2. 第 4 回理事会・第 3 回評議員会の開催について 3. 法人運営にかかる諸課題について 4. 平成 29 年度山科社会福祉大会について 5. 第 4 回学区社協会長会議について 6. 健康すこやか学級事業の新たな取組について 7. 市社協・区社協・学区社協の連携による新しい助け合い活動と生活支援サービスについて(案) 8. 慶弔に関する取扱要領について 9. その他 10. 当面のスケジュール
平成 29 年 1 月 16 日 (月)	区社協	1. 各事業報告 2. 学区社協会長会議について 3. 3 月理事会、評議員選任・解任委員会、評議員会の日程について 4. 委員会の委員長の任命について 5. 委員会の日程について 6. 京都市の災害ボランティアセンター運営について 7. その他 8. 当面のスケジュール
平成 29 年 2 月 7 日(火)	区社協	1. 各事業報告 2. 山科ボランティアセンター運営委員会について 3. 生活福祉資金貸付調査委員会について 4. 財務委員会について 5. 共同募金配分金について 6. 社会福祉充実残額について 7. 「地域支え合い活動創出事業」における協議体の設置について 8. 京都市地域支え合い活動入門講座について 9. 区ちょいボラ隊の運営について 10. 学区社協助成にかかる個別協議における確認事項について 11. その他 12. 当面のスケジュール

平成 29 年 3 月 14 日 (火)	区社協	1. 各事業報告 2. 第 5 回理事会・第 4 回評議員会について 3. 平成 28 年度第 2 次補正予算(案)について 4. 平成 29 年度事業計画(案)について 5. 平成 29 年度収入支出予算(案)について 6. 評議員選任・解任委員会について 7. 学区社協会長会議について 8. 地域協議会について 9. 学区社協助成個別協議の状況について 10. 生活福祉資金学区説明会の状況について 11. その他 12. 当面のスケジュール
----------------------	-----	--

②理事会

開催年月日	場所	内 容
		【第1号議案】評議員の補充選任に関する件について
		【第2号議案】参与の委嘱に関する件について
平成 28 年 5 月 27 日 (金)	区社協	【第3号議案】入会に関する件について
		【第4号議案】平成27年度事業報告に関する件について
		【第5号議案】平成27年度決算に関する件について
平成 28 年 9 月 26 日 (月)	区社協	【第1号議案】任期満了に伴う評議員の選任に関する件について
平成28年9月20日(月)	△ 仁 勋	【第2号議案】平成28年度資金収支第1次補正予算に関する件について
		【第1号議案】任期満了に伴う会長の選任に関する件について
平成 28 年 10 月 3 日 (月)	区社協	【第2号議案】任期満了に伴う副会長の選任に関する件について
一十成28年10月3日(月)	四 和 励	【第3号議案】任期満了に伴う顧問の委嘱に関する件について
		【第4号議案】任期満了に伴う参与の委嘱に関する件について
	区社協	【第1号議案】定款の変更に関する件について
		【第2号議案】定款施行細則の改正に関する件について
		【第3号議案】評議員の選任に関する規程の改正に関する件について
平成 28 年 12 月 16 日 (金)		【第4号議案】評議員選任・解任委員会運営細則の制定に関する件について
		【第5号議案】委員会に関する規程の廃止及び改正に関する件について
		【第6号議案】定款の変更に伴う諸規程の条の改正に関する件について
		【第7号議案】平成28年度上半期事業報告に関する件について
		【第1号議案】評議員選任・解任委員会委員の選任に関する件について
		【第2号議案】評議員選任・解任委員会の招集に関する件について
		【第3号議案】評議員選任候補者の推薦に関する件について
		【第4号議案】経理規程の改正に関する件について
平成 29 年 3 月 28 日(火)	区社協	【第5号議案】資産運用管理規程の制定に関する件について
		【第6号議案】福祉基金設置規程の制定に関する件について
		【第7号議案】平成28年度資金収支第2次補正予算に関する件について
		【第8号議案】平成29年度事業計画に関する件について
		【第9号議案】平成29年度資金収支予算に関する件について

③評議員会

開催年月日	場所	内 容
		【第1号議案】理事の補充選任に関する件について
平成 28 年 5 月 27 日 (金)	区社協	【第2号議案】平成27年度事業報告に関する件について
		【第3号議案】平成27年度決算に関する件について
		【第1号議案】任期満了に伴う理事の選任に関する件について
平成 28 年 9 月 26 日 (月)	区社協	【第2号議案】任期満了に伴う監事の選任に関する件について
		【第3号議案】平成28年度資金収支第1次補正予算に関する件について
	区社協	【第1号議案】定款の変更に関する件について
		【第2号議案】定款施行細則の改正に関する件について
平成 28 年 12 月 16 日 (金)		【第3号議案】実費弁償規程の改正に関する件について
		【第4号議案】定款の変更に伴う諸規程の条の改正に関する件について
		【第5号議案】平成28年度上半期事業報告に関する件について
平成 29 年 3 月 28 日 (金)	区社協	【第1号議案】理事の選任に関する規程の改正に関する件について
		【第2号議案】平成28年度資金収支第2次補正予算に関する件について
	四江肋	【第3号議案】平成29年度事業計画に関する件について
		【第4号議案】平成29年度資金収支予算に関する件について

④監事会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 16 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度事業監査について 2. 平成 27 年度会計監査について 3. 平成 27 年度法人運営監査について

⑤学区社協会長会議

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 19 日 (木)	区社協	1. 平成 28 年熊本地震被害への対応について 2. 平成 28 年度主要事業について 3. 地域福祉活動実践交流会 4. 平成 28 年度賛助会員の募集について 5. その他
平成 28 年 7 月 21 日 (木)	区社協	1. 新・地域の絆づくりモデル事業について 2. 平成28年度主要事業について 3. 地域福祉活動実践交流会 4. 第22回山科社会福祉大会案内方法について 5. 任期満了に伴う役員改選および法改正について 6. その他
平成 28 年 9 月 15 日 (木)	区社協	1. 健康すこやか学級事業について 2. 役員等退任感謝状贈呈基準について 3. 機関誌 Be-Vo (通常号) について 4. 第22 回山科社会福祉大会要員のお願いについて 5. 山科区総合防災訓練について 6. 第1号部会【学区社会福祉協議会】 7. その他
平成 28 年 12 月 15 日 (木)	区社協	1. 定款変更に伴う評議員の定数変更について 2. 健康すこやか学級事業の新たな取組について 3. 市社協・区社協・学区社協の連携による新しい助け合い活動と生活支援 サービスについて 4. その他
平成 29 年 1 月 19 日 (木)	区社協	1. 地域福祉・ボランティア活動カレッジ 2. 健康すこやか学級事業「実務者研修会」について 3. 学区社協助成について 4. その他
平成 29 年 3 月 16 日 (木)	区社協	1. 健康すこやか学級事業について 2. 学区社協助成について 3. 平成 28 年度賛助会員募集実績について 4. 平成 29 年度事業計画(案)について 5. その他

⑥企画委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 8 月 25 日 (火)	区社協	1. 山科区社協会長表彰審査について 2. 第 22 回山科社会福祉大会について 3. 平成 28 年度役員研修会について 4. 役員等退任感謝状贈呈基準について 5. 広報紙 Be-Vo (通常号) について 6. 区ボランティアセンター事業について 7. 山科区総合防災訓練について 8. 山科総合福祉会館会議室・ボランティア室・ロッカー・コピー機の利用、備品の貸出について

⑦財務委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 6 月 28 日 (火)	区社協	1. 共同募金配分金による事業助成の審査について 2. 共同募金配分金助成金交付説明会について
平成 29 年 2 月 27 日 (月)	区社協	1. 副委員長の指名について 2. 平成 28 年度賛助会費の募集状況について 3. 平成 29 年度共同募金配分金について 4. 福祉施設事業助成・ボランティア団体活動助成の公募について 5. 学区社協助成の見直しについて 6. 社会福祉充実残額について

i 共同募金配分金助成金交付説明会

助成金の使途の明確化と活動の活性化を目的に、共同募金配分金を財源とする助成を受けた福祉関係団体、ボランティアグループ、福祉施設を対象に助成金交付説明会を開催し、共同募金運動の現状や配分の趣旨について説明するとともに、適切な執行と受配者自身の運動への参画を働きかけました。

いくつかの団体には助成金の使途や活動内容について事前にヒアリングを実施しました。次年度以降 も、共同募金配分金を助成することにふさわしい活動であるか、財務委員会によるヒアリングを実施し、 共同募金配分金の有効な活用を進めます。

日程	場所	内 容	参加
平成 28 年 7 月 28 日 (火)	区社協	1. 助成金使途説明 各団体 2. 助成金交付	32 団体

⑧部会

開催年月日	場所	内 容
<第1号部会> 平成28年9月15日(木)	区社協	1. 理事候補者(5 名)・評議員候補者(13 名)の選出について
<第2号部会> 平成28年9月21日(水)	区役所	1. 理事候補者(1 名)・評議員候補者(2 名)の選出について
<第3号部会> 平成28年8月24日(水)	区社協	1. 理事候補者 (1名)・評議員候補者 (2名) の選出について 2. 部会長の選任について 3. 情報交換
<第4号部会> 平成28年9月9日(金)	区社協	1. 理事候補者 (2名)・評議員候補者 (4名) の選出について 2. 部会長の選任について 3. 情報交換
<第5号部会> 平成28年9月12日(月)	区社協	1. 理事候補者(4名)・評議員候補者(7名)の選出について 2. 部会長の選任について 3. 情報交換

⑨評議員選任·解任委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	区社協	1. 委員長の選任について 2. 評議員の選任について

(2) 会員の加入促進

第4号会員「社会福祉事業団体」の区分で1団体の入会がありましたが、第3号会員「社会福祉事業施設」の区分で、移転等により2施設の退会がありました。

会員区分	会員数	入退会
第1号会員 学区社会福祉協議会	13	
第2号会員 区民生児童委員会	1	
第 3 号会員 社会福祉事業施設	84	【退会】京都フレンドリーハウス小野作業所 【退会】山科やすらぎの里共同作業所
第 4 号会員 社会福祉事業団体	7	【入会】山科区身体障がい児者父母の会
第 5 号会員 社会福祉関係団体	11	
第6号会員 社会福祉関係行政機関	5	
合計	121	

(3) 賛助会員の募集

区民の賛同を得て会費という形で協力していただきました。賛助会費は福祉活動を支える大きな財源であると同時に、区・学区社協活動に対する期待の表れでもあります。多くの区民から協力を得られるような働きかけを行い、またその期待に応える活動を積み重ねていくことが求められます。

学区	賛助会費実績(円)	学区	賛助会費実績(円)	学区	賛助会費実績(円)
勧 修	1, 038, 000	陵ヶ岡	709, 000	小 野	1, 311, 700
山階	984, 500	大 宅	706, 800	音羽川	1, 401, 400
鏡 山	867, 750	山階南	1, 229, 100	西 野	630, 000
音 羽	802, 500	百々	870, 600	事務局	401,000
安 朱	930, 000	大 塚	1, 155, 550	合 計	13, 037, 900

(4) 福祉基金の運用

福祉基金 3500 万円を、安全性を第一に、ペイオフ対策として 4 か所の金融機関に分散して、定期預金で運用しました。

(5) 実習・体験学習の受入

福祉に携わる人材の養成を社会的役割として、社会福祉士養成課程の相談援助実習生の受入を行いました。

種別	受入期間	受入先	受入人数
実習	平成28年8月1日(月)~9月2日(金)	立命館大学	2名

2 企画広報事業

- (1) 第3期山科区地域福祉活動計画の推進
- ①山科区地域福祉活動計画推進会議
- ②地域福祉推進モデル事業の推進

各事業の実施や各学区での取組により、第3期地域福祉活動計画の基本目標である「あらゆる生活課題の解決や孤立防止に向けた安心・安全の福祉のまちづくり」を推進しましたが、進捗確認は事務局内での作業にとどまり、推進会議の開催には至りませんでした。

(2) 啓発事業

①第22回山科社会福祉大会

福祉功労者への顕彰と、福祉関係者の連帯を広げ、地域福祉への関心を深めていただくために、山科社会福祉大会を開催しました。行政、福祉関係機関・団体、地域住民が一堂に会し、地域のつながりを再構築し、住民主体の福祉のまちづくりを推進していくことを改めて決意する場となりました。

[目時] 平成 28 年 11 月 12 日 (土) 14:00~16:30

[会場] 京都市東部文化会館 ホール

[顕彰] 表彰 25名/5団体 感謝状 5名/21団体

[内容] 第1部 式典

第2部 リレートーク

テーマ 「熊本地震被災地支援を通じて考える私たちにできること」

発表者 川内充 氏 社会福祉法人同和園 在宅部統括部長(短期入所事業 管理者)

鴨川聡子 氏 公益社団法人信和会 総合ケアステーション山科南統括所長

訪問看護ステーションひまわり所長

樋爪幸子 氏 山科区役所 地域力推進室 総務・防災担当課長補佐

木俣紀子 氏 京都市社会福祉協議会 地域福祉推進室 ボランティア支援部長

中村亮太 京都市山科区社会福祉協議会 職員

進 行 吉川彰 京都市山科区社会福祉協議会 事務局長

[参加] 476名

②福祉ボランティア・社協フェスタ (市社協と共催)

楽しみながらボランティア活動や地域福祉についての理解を深め、参加のきっかけを提供するとともに、施設と地域の連携強化を図るため、市社協と共催で「福祉ボランティア・社協フェスタ」を開催しました。地域福祉の紹介コーナーでは、山科区社協や学区社協の活動啓発を行いました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 10 月 16 日 (日)	ひとまち 交流館	 ・イザ!カエルキャラバン! ・熊本復興支援ゾーン ・子ども体験コーナー ・福祉体験・相談ゾーン ・ボランティア交流コーナー ・地域福祉の紹介コーナー ・飲食・喫茶コーナー ・式典・記念フォーラム 	2, 700 名

(3) 福祉情報流通事業

①機関誌「Be-Vo」

機関誌「Be-Vo」は、事業計画・予算・決算特集号、ユースアクション特集号、第31号を発行し、事業の広報を行いました。第31号については、従来の2色刷りをカラー印刷に変更するとともに、ポスティング業者による全戸配布を行い、より多くの方に区社協を知っていただく取組を進めました。

ノイマノ末日による土	一 配用で行べ、より多くの力に区性励で加りていたに、収組で延めよした。
号	内 容
事業計画・予算・決算 特集号	・平成 28 年度基本方針・平成 28 年度事業・予算・平成 27 年度賛助会費実績・平成 27 年度決算
ユースアクション 特集等	・ユースアクション 2016 参加者募集
第 31 号	・事業の紹介(居場所、日常生活自立支援事業、山科子育て応援団、山科・介護者の会) ・ボランティアセンターだより(事業の紹介、山科ボランティアグループ連絡会の紹介) ・賛助会員加入のお願い ・チャリティ BOX

②ホームページ (http://www.mediawars.ne.jp/~fukusi08/)

インターネットによる情報発信を強化するため、区社協が関わる事業の案内をホームページ上に掲載しました。

③市区社協共同広報紙(市社協と共催)

社協に対する認知度及び関心を高めるとともに、社協活動を市民に説明する責任を果たすため、毎年 1 回発行しています。

뭉	内 容
平成 28 年度版	・届けよう 災害支援の思いと力 ・各区・各学区社協の取組 健康すこやか学級 高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会を実施 ・福祉ボランティア社協フェスタご案内 ・広報サポーター募集

(4) 研修事業

①役員研修会

国や京都市の動向を踏まえながら事業を進めていくために、理事・監事・顧問・参与・評議員を対象 として、「福祉をめぐる最新の動向」を学ぶ役員研修会を実施しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 10 月 3 日 (月)	区社協	テーマ:「社会福祉法人制度の改革について」 講師:山科区社会福祉協議会 事務局長 吉川彰	32 名

②地域福祉活動実践交流会

地域福祉の一層の充実と発展に向けて活動していくために、社会福祉協議会と民生児童委員との連携はこれまで以上に重要であり、社会福祉協議会と民生児童委員の共催で活動交流会を実施しました。

「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」をテーマに、支援が必要な方の情報共有に関して、前半は、学区社協と民協が連携している取組の事例報告を2学区社協から行いました。後半のグループワークでは、支援が必要な人の情報の共有や、効果的だった連携事例など、参加者がそれぞれの活動の中で経験された内容を意見交換しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成28年8月8日(月)	アスニー 山科	テーマ:「地域福祉の推進のための学区社協と民協の連携・協働について」 ・事例報告 安朱学区 それぞれの立場から心を開くアプローチ 陵ヶ岡学区 「高齢者見守り体制の確立」に向けて 〜見守りマップの作成〜 ・活動交流(学区ごとに意見交流)	90名

③地域福祉推進セミナー

社会福祉協議会と民生児童委員の互いの成り立ちや社会的な位置づけ、果たすべき機能などを理解するとともに、その違いを尊重した連携強化を目的とし、社協・民協合同研修という位置づけで「地域福祉推進セミナー」を開催しました。

自主的に組織された団体による地域支援を行う社協と、行政から委嘱された個人による個別支援を行う民生委員が、それぞれの特色を踏まえてどのように連携していくのか、実践報告をもとに考えました。 山科区からは、安朱学区社協が実践報告を行いました。

開催年月日	場所	内 容	参加
		テーマ: 「地域福祉推進における社協と民生委員との連携につ	
平成 28 年 6 月 27 日 (月)	みやこ	いて」	E19 夕
平成20年6月21日(月)	めっせ	実践報告① 東山区・修道学区民生児童委員協議会	512 名
		実践報告② 山科区·安朱学区社会福祉協議会	

④地域福祉・ボランティア活動カレッジ(市社協と共催)

「健康すこやか学級と新しい助け合い活動について」をテーマに、これまでの取組の成果を踏まえ、介護予防事業である「健康すこやか学級事業」における新たな取組とともに、市・区・学区の三層の社協の連携による地域の絆づくりと新しい助け合い活動の推進に向けて共通認識を図るために、市社協と共催で開催しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 2 月 15 日 (水)	ひとまち 交流館	基調報告:「介護保険制度改正と住民による支え合い活動について」 いて」 説明・演習①:「健康すこやか学級事業の新たな取組について」 説明②:「新しい助け合い活動について」 実践報告 左京区・市原野社会福祉協議会 演習	137 名

⑤知的ハンディのある人を支える合同研修

手をつなぐ育成会山科支部と共催し、知的ハンディのある人が地域生活を実現するためのテーマを取り上げて公開学習会として開催しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 9 月 29 日 (木)	区社協	講演:「地域生活移行への実態」 講師: 桜井基生 氏(知的障害者支援事業所 七 所長)	24名

(5) 福祉関係団体・施設への支援

①福祉関係団体事業助成

福祉団体・福祉事業の推進を図るために、共同募金配分金を財源として、福祉関係団体への助成を行いました。

団体名	助成額(円)	団体名	助成額(円)
山科区老人クラブ連合会	60,000	山科区保育園協議会	60,000
山科区身体障害者団体連合会	70,000	山科区母子寡婦福祉会	48,000
山科区肢体障害者協会	59,000	山科区少年補導委員会	60,000
山科視覚障害児者協会	59,000	山科区子供会育成連絡協議会	40,000
聴覚障害者協会山科支部	59,000	山科区遺族会連合会	48,000
中途失聴・難聴者協会山科支部	59,000	社会を明るくする運動山科区実行委員会	80,000
山科区身体障害児者父母の会	35,000	ふれあいやましな実行委員会	150, 000
手をつなぐ育成会山科支部	80,000		
		15 団体 合計	967, 000

②福祉施設事業助成

共同募金配分金を財源とする福祉施設事業助成について、平成 28 年度から助成要綱を改正し、社会 福祉施設の地域貢献を支援する事業を対象に助成を行いました。

施設名	助成案件	決定額(円)
山科工房	コーヒーの日 (10/1) テイスティングセミナー開催	22,000
陽だまりクラブ共同作業所	大型物置	40,000
新明塾 山科教室	エアコン	40,000
わかばグループホーム	消火器及び格納箱	40,000
介護老人福祉施設 きよみず苑	プロジェクタースクリーン・折りたたみチェア5脚	40,000
ヴィラ山科老人デイサービスセンター	肘掛け椅子5脚・マイク付きスピーカー	40,000
デイサービス小鳥のさえずりしらかば苑	認知症サポーター養成講座の開催	40,000
大宅地域包括支援センター	居場所事業の運営費用(会場賃借料・光熱費・チラシ代)	40,000
日ノ岡地域包括支援センター	旗・ポール・台セット・ボランティアスタッフTシャツ	39, 128
	9 施設 合計	341, 128

3 ネットワーク事業

(1) 地域福祉ネットワーク

①山科区地域福祉推進委員会

山科区地域福祉推進委員会は、京都市の「京・地域福祉推進プラン」に基づき、地域の安心・安全を福祉の観点から実現するため住民・公共的団体・行政が、自助・共助・公助の考え方に基づく社会福祉の構築を目指し、区域における横断的な協働システムとして設置され、活動を展開しています。山科区社協はその事務局の役割を担っています。

i 山科区地域福祉推進委員会 作業部会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 23 日 (月)	区社協	1. 平成 27 年度 事業報告及び決算報告について 2. 福祉総合マップの随時更新作業について 3. フリースペース 今後の展開について 4. 平成 28 年度事業計画(案)及び予算(案)について 5. 平成 28 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について 6. その他
平成 28 年 10 月 7 日 (金)	区社協	1. 山科区地域福祉推進委員会上半期報告について 2. 平成 28 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について 3. 地域福祉推進委員会について 4. 総合福祉マップについて 5. その他
平成 28 年 11 月 30 日 (水)	区社協	1. フリースペース設置運営事業の実践報告(総括)の内容について 2. 「山科区の地域福祉を考える集い」の内容について 3. その他
平成 29 年 3 月 10 日 (金)	区社協	1. 「平成 28 年度山科区の地域福祉を考える集い」振り返りについて 2. 平成 28 年度「山科区総合福祉マップ」について 3. フリースペース設置運営事業 5 年間の総括について 4. その他

ii 山科区地域福祉推進委員会

開催年月日	場所	内 容
平成28年6月3日(金)	区社協	1. 各委員の自己紹介 2. 平成 27 年度事業報告及び決算の報告 3. フリースペース 今後の展開について 4. 平成 28 年度事業計画(案)及び予算(案)について 5. 福祉総合マップの随時更新作業について 6. 平成 28 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について
平成 28 年 10 月 27 日 (木)	区社協	1. 平成 28 年度上半期事業報告 2. 第 2 回作業部会の報告 3. 福祉総合マップについて 4. 平成 28 年度「山科区の地域福祉を考える集い」について 5. 各地域福祉推進委員の地域における活動報告と意見交換

iii 山科区の地域福祉を考える集い

フリースペース設置 5 年間の成果と課題等、居場所に関わる実践者の活動報告と、今後地域で取り組む新しい絆づくりについて考えました。後半のグループ討議では、それぞれの立場でできる居場所への参加や、居場所で築かれた絆を活かしてできそうなことを話し合いました。参加者は、地域関係者 59 名、事業所・関係機関 45 名、一般 2 名、委員 13 名、事務局 7 名の合計 126 名でした。

	/// 1 / 1 / 1	文英 10·11、 中初/時 1·11·0·11 11·0·11 10·11
開催年月日	場所	内 容
平成 29 年 1 月 26 日 (木)	区役所	テーマ:新しい絆でつくる福祉のまちづくり 講演・コーディネーター: 山科醍醐こどものひろば 理事長 村井琢哉 氏 実践報告: ①5年間の取組を振り返って フリースペース責任者:だんごやましなくらぶ代表 板野美由紀氏 ②それぞれの立場から関わって思うこと 前主任児童委員 富樫繁子氏 老人福祉員 平井清子氏 山科・介護者の会「はげましの会」代表 山本三沙子氏 山階地域包括支援センターセンター長 森下睦美氏 東部障害者地域生活支援センター「らくとう」所長代理 中村嘉男氏 就労継続支援B型事業所オリーブホットハウス施設長 勇川昌史氏 ③この集いをきっかけに活動を始めて 北井上町内会 なかよし会 新庄政美氏、大河内清子氏 グループ討議・意見交換 テーマ: 自分なら「居場所」に対してどんな参加の仕方ができそうか。 「居場所」を通して築かれた絆を活かせば、どんなことができそうか。

iv 山科区福祉総合マップ

山科区内に住所地をおく福祉に関連する団体や事業所等の情報を中心にインターネットで発信しま した。平成28年度は、高齢者に関する情報と障害者に関する情報を大幅に更新しました。

v フリースペース「みんなの家★山科」

誰もが社会的に孤立した状態に陥りやすい状況にあり、虐待や自死・孤独死等の問題に直結しかねない懸念を予防し、山科区民のボランティア力と障がい者や高齢者等の活躍の場を生み出し、安心安全の福祉のまちづくりを推進することを目的として、地域福祉関係者の連携・協働により進めました。

参加者もスタッフも専門機関もお互いに居場所の一部であり役割を担いつつ集う場となり、顔見知りが増えた集いの場で、ゆるくみんなでお互いに見守り、必要に応じ専門機関が相談に入ることもできる "安心の場"にもなっています。各所で個性ある取組が進められました。

平成28年度は新たに2か所開設され、13か所での実施となりました。

実施場所	日時
山科醍醐こどものひろば	毎月 第1:3:5 月曜日 午後1時 ~ 午後4時
(山科区竹鼻堂ノ前町 18-1)	77.2
山科総合福祉会館 (山科区西野大手先町 2-1)	毎週 水曜日 午前10時 ~ 午後4時
(田村区四野人子元町 2-1) 笑顔とふれあいの家みささぎ「みささぎ」	
(山科区御陵原西町 42)	毎週 水曜日 午後 1時 ~ 午後4時
東総合支援学校「ふれあいスペース絆」	毎週 火曜日 午前10時 ~ 午後4時
(山科区大塚高岩)	
みちくさの家「百々学区社会福祉協議会」	 毎月 第2木曜日 午後1時30分~午後3時
(山科区川田清水焼団地町6番地2)	P// // // P// P// P// P// P// P// P// P
るまんやましな「みんなの家大宅」	- 毎月 第 3 火曜日 午前 10 時 ~ 午後 15 時
(山科区東野門口町 1-2)	AND MEET THE TOWN TO ME
山階南小学校内「絆ひろば」	 毎月 第 2 金曜日 午前 9 時 ~ 午前 12 時
(山科区東野八代 10)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
安朱自治会館「アルモンデ」	 毎月 第3月曜日 午後 1時 ~ 午後 4時
(山科区上野御所ノ内町 46)	两月 第 5 月曜日 [校 1 时] [校 1 时]
小野児童館「居場所・井戸端」	 毎月第2土曜日 午前 10 時 15 分~午前 11 時 45 分
(山科区小野蚊ケ瀬町 15 番地)	两月第2工唯日 一十前10時15万一十前11時45万
デイサービスすばる勧修寺「居場所・井戸端」	奇数月第2土曜日(12月~3月休み)
(山科区勧修寺瀬戸河原町 161)	午前 10 時 15 分~午前 11 時 45 分
音羽リハビリテーション病院「"絆" at おおつか」	毎月 第3土曜日 午後 2時 ~ 午後 4時
(山科区小山北溝町 32-1)	(平成 28 年 10 月~毎月第 4 日曜日に変更)
山科合同福祉センター「"たけはな"」	毎月 第2火曜日 午前10時 ~ 午後1時
(山科区竹鼻四丁野町 34-1)	(平成 28 年 9 月~開設)
四ノ宮の家「四ノ宮の家」	毎月 第2土曜日 午後1時 ~ 午後3時
(山科区四ノ宮神田町 26)	(平成 29 年 3 月~開設)

フリースペースの実績

_		· 入/原		T
	場所	山科醍醐こどものひろば	山科総合福祉会館	笑顔とふれあいの家みささぎ
項目		「こどものひろば」	「山科総合福祉会館」	「みささぎ」
		(山階学区)	(山階学区)	(陵ヶ岡学区)
開作	崔 日時	毎月第 1·3·5 週 (月)	毎週(水)	毎週(水)
実が	包数	24 回	48 回	46 回
時間	II .	13:00~16:00	10:00~16:00	13:00~16:00
特得	数	こじんまり静かに過ごせる	広くて溶け込め易い	地域主体の運営
			男性も集いやすい	
定例	列企画		第1週 AM はげましの会	第2週上映会
			年2回 橘大学健康相談	第4週おたのしみ企画
				年2回 橘大学健康相談
	高齢者	0名	2,087名	166名
	障害児・者	25名	135名	4 4 名
	大人	17名	6 0 名	0名
	小人	0名	12名	0名
延~	※利用者合計	4 2 名	2,294名	210名
	ボランティア	6名	349名	20名
	関係機関	2 3 名	29名	3名
延^	ベスタッフ合計	29名	378名	23名
成界	Ę	コミュニケーションが苦手、	東総合支援学校の生徒が就労	隔週で学区社協が企画を考
		話し相手が欲しくて通う人が	訓練社会参加カリキュラムと	え、声掛け・広報が進めら
		定着した。	して参画。橘大学の健康相談	れ、利用者が増えた。橘大学
			企画も定着してきた。折紙を	の健康相談で、新しい参加者
			通して他の居場所との交流が	層もできた。
			深まった。	-

	場所	東総合支援学校	みちくさの家	るまんやましな
		「ふれあいスペース絆」	「百々学区社会福祉協議会」	「みんなの家大宅」
項目 (大:		(大塚学区)	(百々学区)	(大宅学区)
開作	崔日時	毎週(火)	毎月第2(木)	毎月第3(火)
実が	回数	49 回	12 回	12 回
時間	1	10:00~16:00	13:30~15:00	10:00~15:00
特律	枚	地域主体の運営	地域主体の運営	地域主体の運営
定例	可企画	1·3 週 AM 健康体操	軽い体操、折り紙	野菜販売、
		2・4 週 AM 筋トレ教室	脳年齢チェック	挽きたて豆のコーヒー
		4 週コンサート・山科苑交流	年2回橘大学健康相談	障害者支援センター相談窓口
		野菜販売		隔月開設
	高齢者	855名	8 5 名	6 1 名
	障害児・者	227名	0名	29名
	大人	31名	70名	4 4 名
	小人	91名	0名	1名
延~	※利用者合計	1,204名	155名	135名
	ボランティア	226名	71名	29名
	関係機関	182名	21名	11名
延~	ベスタッフ合計	408名	9 2 名	40名
成果	71	東総合支援学校の生徒が就労	利用者も定着して、健康や趣	障がい者も高齢者も自由に集
		訓練社会参加カリキュラムと	味に関わる企画を利用者の要	っていい雰囲気ができ、気軽
		して参画、近隣特養からの参	望を聞きながらスタッフで整	な居場所として提供された。
		画等が進み、地域の交流拠点	えられてこられた。	地域役員間での情報共有や打
		として定着してこられた。		合せの場としても活用されて
				いる。

	場所	山階南小学校内	安朱自治会館	小野児童館
		「絆ひろば」	「アルモンデ」	「居場所・井戸端」
項目		(山階南学区)	(安朱学区)	(小野学区)
_	· 崔日時	毎月第2(金)	毎月第3(月)	毎月第2(土)冬期除く
実加	包数	12 回	9 回	8 回
時間	1	9:00~12:00	13:00~16:00	10:15~11:45
特得	数	地域主体の運営	地域主体の運営	地域主体の運営
定例	列企画	折り紙、お手玉、歌	折り紙、小物作り	昔遊び、ゲーム、工作
	高齢者	4 4 名	9 4 名	4名
	障害児・者	0名	0名	1名
	大人	71名	21名	4 3 名
	小人	1名	0名	188名
延~	*利用者合計	116名	115名	236名
	ボランティア	6 2 名	17名	1 2名
	関係機関	9名	5名	3 2 名
延~	ベスタッフ合計	71名	2 2 名	4 4 名
成身	Ę	通う人が定着してきた。男性	居場所だけではなく、地域で	児童館に通う子どもたちにと
		が集いやすくなるよう、男性	のつながりの拠点として定着	ってもスタッフをしたり集っ
		スタッフを増やして試行され	してきた。	て宿題をしたりと地域の居場
		た。利用しやすい環境を整え		所としての参加がされるよう
		るため開催日の変更も検討が		になった。
		進められた。		

	場所	デイサービスすばる勧修寺	音羽リハビリテーション病院	山科合同福祉センター
		「居場所・井戸端」	「"絆"at おおつか」	「"たけはな"」
項目		(小野学区)	(大塚学区)	(山階学区)
開催	崔日時	隔月第2(土) 冬期除く	毎月第3(土)10月~第4(日)	毎月第2(火)
実施	回数	4 回	12 回	7 回
時間	Ī	10:15~11:45	14:00~16:00	10:00~13:00
特得	枚	地域主体の運営	地域主体の運営	地域主体の運営
定例	可企画	レクリエーション	健康講座、音楽療法	併設で朝市開催
	高齢者	10名	213名	30名
	障害児・者	0名	4名	15名
	大人	25名	30名	42名
	小人	0名	3 0 名	1名
延^	※利用者合計	3 5 名	277名	8 8 名
	ボランティア	3名	4名	41名
	関係機関	10名	6 7 名	27名
延^	ベスタッフ合計	13名	71名	6 8 名
成果	Ę	デイサービスの利用者とのレ	病院を会場にした居場所で新	地域と障害者施設との連携に
		クや会話、入浴も含め楽しま	たな参加者層の発掘や連携の	よる開催の仕方が試行され
		れた。	仕方が試行された。	た。参加者も増えてきた。

111-7		
場所	四ノ宮の家	
	「四ノ宮の家」	
項目	(音羽学区)	
開催日時	毎月第2(土)	合計
実施回数	1 回	□ 計
時間	13:00~15:00	
特徴	地域主体の運営	
定例企画		
高齢者	15名	3,664名
障害児・者	0名	480名
大人	1名	455名
小人	1名	325名
延べ利用者合計	17名	4,924名
ボランティア	6名	846名
関係機関	3名	422名
延ベスタッフ合計	9名	1,268名
成果	音羽学区、音羽川学区共に周	
	知し、学区を超えて通いやす	
	い近隣の参加を促した。	

vi 山科区内「居場所」活動関係者交流会

38 ヶ所の「居場所」および「居場所」活動関係者、地域福祉推進委員会作業部会員へ案内し、「居場所」活動関係者 10 ヶ所 16 名、事務局の合計 18 名で交流会を実施し、親睦を深めました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成28年9月7日(水)	区社協	1. 「あおむしくん」をつくろう 2. 交流・親睦会	18名

②地域公益活動の支援

社会福祉施設が行う地域公益活動を促進するため、福祉施設事業助成要綱を改正し、地域福祉活動に対する拠点の提供や講師派遣など、会員施設が行う地域福祉活動の支援に助成金を交付しました。

③山科区民生児童委員会との連携

地域福祉活動実践交流会を共催するとともに、民生児童委員会会長会に適宜出席し、事業の周知や協力依頼を行いました。

④山科区共同募金会との連携(共同募金運動への協力)

共同募金会運営委員会に出席して情報共有を図るとともに、募金箱の設置や街頭啓発への参加により、 共同募金運動への協力を進めました。

⑤行政関係ネットワークへの参画

i 山科区民まちづくり会議

区民・関係者の共汗・協働により山科区基本計画を推進する「山科区民まちづくり会議」に参画しました。

ii 山科区行政推進会議(文化、教育、福祉部会)

山科区の行政関係機関で構成する山科区行政推進会議(「文化・教育・福祉部会」所属)に参画し、情報交換を行いました。

(2) 高齢者福祉ネットワーク

①地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センター運営協議会(3回)及び運営会議(9回)に参加し、区域での高齢者支援の実状 と課題について関係機関で情報共有しました。

また、日常生活圏域ごとに開催される地域ケア会議 (5 圏域 10 回)、学区ごとに開催される地域ケア会議 (9 学区 15 回)、個別事例検討のために開催される個別ケア会議 (1 学区 1 回)に参加し、それぞれの課題への対応に向けた協議の場に加わりました。

さらに、安祥寺中学校区かぎ預かりモデル事業実行委員会にオブザーバーとして加わり、山階学区・安朱学区・西野学区での事業展開を支援しました。

こうした連携を通して、山科区の高齢者の生活課題を把握し、解決の方策の検討につながるように努めました。

②山科区在宅サービス実務者会議

山科区在宅サービス実務者会議(11回)に参加し、介護保険情報や区内事業所等の最新動向の把握や、 情報収集に努めました。

③認知症になっても安心して住める山科区を作ろうプロジェクト

今年度、認知症になっても安心して住める山科区を作ろうプロジェクトに参画し、認知症の正しい理解の普及啓発、早期発見や早期対応の仕組みづくり、行方不明時の対応や仕組みづくりについて協議しました。

A U / C 0		
開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 7 月 21 日 (木)	区役所	1. 自己紹介 2. 平成 28 年度山科区における認知症に対する支援の取組みについて 3. 認知症における事業状況報告と今後の取組予定 4. その他
平成 28 年 9 月 29 日(木)	区役所	1. 山科区認知症支援に関する資源の確認等 2. 今年度の認知症支援の取組 3. 平成 28 年度取り組む認知症支援事業 4. その他
平成 28 年 10 月 21 日 (金)	区役所	1. 前回の振り返り 認知症支援の課題と対策について 2. 取り組むべき課題の優先順の決定 3. 平成 28 年度取り組む具体的認知症支援 4. その他
平成 28 年 11 月 22 日(火)	区役所	1. 前回会議にて抽出された課題の確認 2. 抽出された課題に対しての方針 3. 平成 28 年度取り組む課題に対して具体的な支援及び役割 4. その他今後について
平成 29 年 2 月 21 日 (火)	区役所	1. 現状及び進捗状況の報告 2. 実施に向けた整理及び今後の予定 3. 今後の取組み 4. 次年度のプロジェクト会議のあり方 5. その他

④山科・醍醐権利擁護ネットワーク会議

醍醐・山科権利擁護ネットワーク会議に参画し、関係する内容の会議に出席することで、具体的な連携について学習と情報交換を進めています。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 7 月 15 日 (金)	愛生会病院	弁護士との連携について
平成 28 年 10 月 26 日 (水)	区役所	事例を通して専門職に依頼する判断基準
平成 29 年 2 月 20 日 (月)	醍醐支所	精神科訪問看護利用の流れ、パネルディスカッション

⑤山科・介護者の会「はげましの会」の活動支援

山科・介護者の会「はげましの会」では、介護者が集う機会を毎月企画し介護者の仲間づくりを進めるとともに、広報紙の発行、誕生日カードやプレゼントの送付により交流を図るなど、介護者が介護を一人で抱え込まないような取組を実施しており、世話人会への助言や情報提供を行い、活動を支援しました。会員数は54名(平成29年3月31日現在)です。

(3) 障がい者福祉ネットワーク

①山科区障害者福祉サービス実務者会議

障害者福祉サービス事業所や関係行政機関の実務者のネットワークを組織し、障害者福祉サービスに 関する情報共有や意見交換等を行うことで、多様な支援による障害者の地域生活の充実を図りました。

i 障害者福祉サービス実務者会議 実行委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 18 日 (金)	区社協	1. 平成 28 年度実行委員会日程について 2. 平成 28 年度研修会の日程、内容について 3. 平成 28 年度実務者会議の日程、内容について
平成 28 年 9 月 20 日 (金)	区社協	1. 平成 28 年度上半期の振り返り 2. 平成 28 年度下半期について 3. その他

ii 障害者福祉サービス実務者会議

昨年に引き続き、区内で災害が起こった際の動きを知るとともに、各サービス事業所が「どのように利用者の状態を把握し、対応するべきか」「災害時に備えて、今何をするべきか」などを共有し、災害に強いネットワークづくりのための意見交換を行いました。

***	***			
開催年月日	場所	内 容	参加	
平成 28 年 10 月 25 日(火)	区社協	1. 前年度の振り返り 2. 事前アンケートの結果による事業所の現状 3. 地域に根差した事業所の事例発表 4. 事業所間での意見交換、協議	21 名	

iii 障害者福祉サービス実務者会議 研修会

「障がいがある方とのコミュニケーションの取り方」として、昨年に引き続き、ICT(情報通信技術)を利用した障がい者との関わり方について学びを深めました。併せて、東総合支援学校の見学も行い、卒業後も途切れない支援を実現するための顔の見える関係づくりを図りました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成28年9月9日(金)	東総合	1. 東総合支援学校高等部見学	11 事業所
	支援学校	2. ICT(情報通信技術)研修	16 名

②京都市東部障害者地域自立支援協議会

障害者自立支援法の施行に伴い、東山区・山科区・伏見区醍醐を圏域として、地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行うための会議として設置された「京都市東部障害者地域自立支援協議会」に参画し、全体会議(1回)、運営会議(2回)に出席しました。

i 京都市東部障害者地域自立支援協議会 全体会議

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 24 日(火)	醍醐 総合庁舎	 平成 27 年度事業報告 平成 27 年度決算報告 監事監査報告 平成 28 年度運営会議メンバーの紹介 平成 28 年度事業計画 平成 28 年度専門部会事業計画 平成 28 年度専門部会事業計画 平成 28 年度予算

ii 京都市東部障害者地域自立支援協議会 運営会議

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 7 月 20 日 (水)	区役所	1. 平成 28 年度研修会について 2. 部会、その他からの報告 3. 東部つながりネット
平成 28 年 10 月 19 日 (水)	区役所	1. 平成 28 年度研修会について 2. 部会、その他からの報告 3. 東部つながりネット
平成 29 年 1 月 18 日 (水)	区役所	1. 地域懇談会について 2. 部会、その他からの報告 3. 東部つながりネット

iii 京都市東部障害者地域自立支援協議会 地域懇談会

障がいのある子どもが普段どのように生活し、どのようなことで困っているのか、保護者のお話しを 通して現状を知り、子どもたちが地域で安心して暮らして暮らすためにどのように支えていくことがで きるかを考えました。障がい児者関係施設、事業所、学区社協関係者、民生児童委員等 116 名の参加が ありました。

開催年月日	場所	内 容
平成 29 年 2 月 13 日 (月)	区役所	テーマ:「障害のある子どもの育ちを地域で支える」 第1部 障害のある子どもの保護者からのお話し ・放課後デイサービスを立ち上げた保護者からのお話し ・子ども食堂を立ち上げた保護者からのお話し ・障害のある子どもに[お金で学ぶさんすう]を教える保護者からのお話し 第2部 意見交換 ・障害のある子どもの育ちを地域で支えるには… 皆で話しあおう

iv 京都市東部障害者地域自立支援協議会 研修会

平成28年4月から障害者差別解消法が施行され、ハード・ソフトの両面で、障がいの特性に応じた合理的配慮が求められるようになった中で、福祉現場での合理的配慮とはどのようなことか、当事者からの講演を聞き、福祉現場で取り組むべき視点について考えました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 12 月 5 日 (月)	醍醐支所	テーマ:「合理的配慮な社会って…?」 講師:北海学園大学法学部講師 中條美和 氏	72名

③山科こころの健康を考える会

精神に障害があり社会的に支援を必要とする人やその家族が地域で安心して暮らすことができるよう、当事者やその家族、保健・医療・福祉機関・人権の向上に努める機関、団体等が連携を深め、情報交換及び精神障害に対する正しい知識の普及や啓蒙を図るとともに、地域住民との交流、精神障害者の自立や社会参加の支援について考えるネットワーク「山科こころの健康を考える会」に、幹事団体として参画しました。

i 山科こころの健康を考える会 幹事会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 4 月 27 日 (水)		1. 平成 27 年度事業報告について 2. 平成 28 年度事業計画について 3. その他

ii 山科こころの健康を考える会 総会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 5 月 30 日 (月)	区役所	1. 平成 27 年度事業報告について 2. 平成 28 年度事業計画について 3. その他

iii 山科こころの健康を考える会 実行委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 4 月 11 日 (月)	区役所	1. 自己紹介 2. 平成 28 年度事業計画について
平成28年5月9日(月)	区役所	 幹事会報告 夏まつりについて
平成 28 年 6 月 13 日 (月)	区役所	1. 総会報告 2. 夏まつりについて
平成 28 年 7 月 11 日 (月)	からし だね	1. 夏まつりについて 2. こころの健康サポーター講座について 3. 精神保健福祉セミナーについて
平成28年8月8日(月)	オリーフ゛ ホットハウス	1. 夏まつりについて 2. こころの健康サポーター講座について 3. 精神保健福祉セミナーについて
平成 28 年 9 月 12 日 (月)	区社協	1. こころの健康サポーター講座について 2. 精神保健福祉セミナーについて
平成 28 年 10 月 17 日 (月)	橘大学	1. こころの健康サポーター講座について 2. 出前講座について 3. 精神保健福祉セミナーについて
平成 28 年 11 月 14 日 (月)	区役所	1. こころの健康サポーター講座について 2. 精神保健福祉シンポジウムについて 3. 紙芝居について
平成 28 年 12 月 12 日 (月)	道のさち	1. 精神保健福祉シンポジウムについて 2. 紙芝居について
平成 29 年 1 月 16 日 (月)	区役所	1. 精神保健福祉シンポジウムについて 2. 紙芝居について
平成 29 年 2 月 13 日 (月)	区役所	 1. 精神保健福祉シンポジウムについて 2. 紙芝居について 3. 来年度の計画について
平成 29 年 3 月 13 日 (月)	からし だね	1. 精神保健福祉シンポジウムについて 2. 紙芝居について 3. 来年度の計画について

iv こころのふれあい夏まつり

精神に障害のある人と地域住民との交流を目的に開催しました。

Hitti II E as as to a settle a				
開催年月日	場所	内 容	参加	
平成 28 年 7 月 27 日 (水)	アスニー 山科	・リレートーク(施設紹介) ・各事業所による展示・販売 ・ゲーム、缶バッチ作り、スタンプラリー ・パネル展示 施設紹介 ・ステージ発表 ・「もてなすくん」がやってくる!	380名	

v こころの健康サポーター講座

こころの病を知り、こころの病を持つ人の気持ちや生活を知ることで、こころの病を持つ人の支援を 考えることを目的として、学区社協、民生委員、保健協議会を対象に開催しました。

	J 1 1005 (
開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 10 月 31 日 (月)	区社協	講義:「こころの病って何ですか?」 〜統合失調症の方の地域生活を支えるためには?〜 講師:精神科医 福島弘之氏 幻聴体験 (DVD 鑑賞) グループワーク	18名

vi 精神保健福祉シンポジウム

障害があっても、住み慣れたまちで「自分らしい」生活を送りたいという希望が実現できる地域を目指し、地域で生活するために何が必要か、地域でできることを考えるために開催しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 3 月 8 日 (水)	アスニー 山科	第1部:講演「地域生活移行支援について」 講師:大阪府立大学 准教授 三田優子 氏 第2部:シンポジウム「地域で共に生きる」 〜住み慣れた町で自分らしく輝く こころのバリアフリーをめざして!〜 シンポジスト:当事者 オリーブホットハウス 京都福祉サービス協会醍醐事務所 地域生活支援センターだいご	88名

(4) 子育て支援ネットワーク

①やましな子育て支援連絡会

次世代を担う子どもたちや子育て家庭への支援を総合的に推進するための協議、連絡調整等を行うネットワーク「やましな子育て支援連絡会」に幹事団体として参画しました。

i やましな子育て支援連絡会 幹事会

開催年月日	場所	内 容	
平成 28 年 4 月 26 日 (木)	区役所	 平成27年度事業報告 子育て支援連絡会の課題について 平成28年度事業について 	
平成 28 年 9 月 30 日 (金)	区役所	1. 研修委員会の設置について 2. 「子育て支援連絡会」で取り上げるべき課題の収集について 3. 平成28年度事業について	

ii やましな子育て支援連絡会 代表者会議

開催年月日	場所	内 容
平成28年6月1日(水)		 1. 平成 27 年度事業報告 2. やましな子育て支援連絡会議の課題について 3. 平成 28 年度事業計画について

iii やましな子育て支援連絡会 研修会

子どもの貧困問題について、保育園、幼稚園、児童館、民生委員、老人福祉員、関係機関を対象に研修会を開催し、理解を深めました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 11 月 29 日(火)	区役所	テーマ:「子どもの貧困~いろいろな課題と山科区内の状況」 講師:山科醍醐こどものひろば理事長 村井琢哉 氏 山科区内の取組紹介:山科青少年活動センター	42 名

②山科区要保護児童対策地域協議会

全国的な児童虐待相談件数の増加、虐待死亡例の発生により市区町村に設置が求められている「要保護児童対策地域協議会」に参画し、代表者会議に出席しました。

開催年月日	場所	内 容
平成28年6月1日(水)	区役所	1. 設置運営要綱と守秘義務について 2. 京都市内の児童虐待相談・通告等について 3. 山科区の状況について

③障がい児の長期休み支援事業(あそびの広場)

総合支援学校や学区社協などの協力のもと、障がい児の余暇支援として、長期休み期間中の遊びの場を提供しました。

開催年月日	場所	内 容
五子 20 左 7 日 20 日 (A)	東総合	バーベキュー・プール・自由遊び
平成 28 年 7 月 29 日 (金)	支援学校	児童 16 名、保護者 2 名、ボランティア 8 名
平成 28 年 8 月 2 日 (火)	東総合	カレーライス・プール・自由遊び・かき氷作り
平成28年8月2日(久)	支援学校	児童 17 名、保護者 12 名、ボランティア 14 名
亚出 20 年 0 日 10 日 (会)	小野	流しそうめん・うどん作り・自由遊び・夏祭り
平成28年8月19日(金)	小学校	児童 17 名、保護者 9 名、ボランティア 18 名
平成 28 年 12 月 27 日 (火)	東総合	おもちつき・自由遊び・パフェ作り
一个成 26 年 12 月 21 日 (火)	支援学校	児童 17 名、保護者 12 名、ボランティア 20 名
平成 29 年 1 月 6 日 (金)	東総合	お正月遊び・自由遊び・たこ焼きパーティー・ピアノ演奏会
	支援学校	児童 19 名、保護者 13 名、ボランティア 14 名
亚出 20 年 2 日 20 日 (水)	身障会館	お弁当作り・自由遊び・たこ焼きパーティー
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	分降云距	児童 11 名、保護者 6 名、ボランティア 15 名

④山科子育て応援団の活動支援

山科区内で活動する7つの子育でサークルのネットワーク「山科子育で応援団」は、親子での交流を大事にし、会議の開催や、サークル紹介リーフレットの作成に加え、母親と子どもの仲間づくりを目的とした「子育でサロン」を毎月第3火曜日に開催しています。その活動支援として、会場の提供等を行いました。

⑤勧修中学校まなびサポートプロジェクト

勧修中学校区こどものサポートプロジェクトに参画し、学習支援を通して、地域の多様な大人が関わり、学校と連携し、地域と専門職の協働による包括的なサポートで「子どもたちの地域での育ち」を支えました。

平成 28 年度は、1 年生から 3 年生までの参加者 16 名(登録者数 30 名)を、地域サポーター8 名、大学生サポーター10 名がサポートしました。

i 勧修中学校まなびサポートプロジェクト 研修会

子どもたちへの支援について学びを深めるため、プロジェクト関係者を対象に研修会を開催しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 3 月 18 日 (土)	青少年 活動センター	テーマ:少年たちを地域で見守るために 講師:京都橘大学教授 高原正興 氏	9名

⑥あそぼランド (プール開放)

法人内連携の一環として、山階児童館と山科老人デイサービスセンターと協働で乳幼児親子向けにプール開放を実施しました。

開催年月日	場所	参加
平成28年8月1日(月)~9日(火)	福祉会館 中庭	16組31名

4 学区社会福祉協議会支援事業

(1) 学区社協台帳の更新

学区社協活動の現況を把握するために作成している学区社協台帳を、平成 27 年度実績に基づき更新 しました。

(2) 学区社協重点目標の推進

学区社協重点目標の推進に向けて、各学区の進捗を把握しました。

学区	重点目標
于区	
	・社協の担い手づくり。
勧修	・高齢化に伴う、健康すこやかサロンの充実(毎月第1~4土曜日)
	・災害ボランティアの人材育成(啓発、研修、訓練の実施)
山階	・各自治会(町内会)に社会福祉協議会、福祉対策部会の確立に取り組みます。
鏡山	・これからの学区社協活動の担い手づくり、人づくりに取り組みます。
現山	・学区社協活動の理解を深めるため広報に力を入れて取り組みます。
	・向い三軒両隣による要配慮者の見守り活動の充実に取り組みます。
4: 22	・誰もが集えるフリースペースの拡充に取り組みます。
音羽	・健康すこやか学級の回数を増やします。
	・担い手を増やすように努めます。
## ##	・学区住民がどなたでも来られるよう、居場所を1ヶ所から3ヶ所に増やします。
安朱	・若い世代が活動できる機会、様々な世代が参加できる機会を増やします。
陵ヶ岡	・きめ細やかな絆づくりによる安心安全の街づくりを進めます。
_L/ 	・担い手づくりに取り組みます。
大宅	・学区民が気軽に集える居場所づくりを開設します。
山階南	・「絆ひろば」の回数を増やし、誰もが気軽に集える居場所づくりを進めます。
77.	・福祉施設と協働し、居場所づくりに取り組みます。
百々	・学区社協の担い手づくりを進めます。
大塚	・地域福祉推進モデル事業をすすめ、ふれあいスペース絆の拡充に取り組みます。
.1 田マ	・熱い血の流れた福祉・自治づくりを進めます。
小野	・みんなで考える自治づくりを進めます。
ਦੇ ਹਹਾ।।	・健康すこやか学級に全町内から参加できるよう、新たな拠点づくりをすすめます。
音羽川	・要援護者名簿の整備をすすめ、特に障害者の把握に努めます。
西野	・福祉施設と連携した居場所づくりを進めます。

(3) 学区社協活動総合推進事業の推進

区社協が助成事業として推進している学区社協事業の項目と、各学区への助成状況は以下のとおりです。これ以外にも、高齢者等を対象に学区民との交流を目的とした「ふれあいの集い」等学区独自の取組へも重点事業助成として助成を行いました。

i 学区社協活動総合推進事業

区	分	項目	
学びあう活動	実態把握	①福祉台帳の整備、②福祉調査の実施、③住民福祉懇談会の開催	
子いめり佰勤	理解促進	④実務者研修会の開催、⑤福祉講座の開催、⑥広報紙の発行	
	仲間づくり	⑦当事者同士の交流会の開催、⑧地域子育てサロンの開催	
ふれあう活動	地域との交流	⑨高齢者と子どもたちの世代間交流、⑩地域行事への参加促進、 ⑪福祉施設との交流	
支えあう活動	②訪問ネットワーク活動、③寝具クリーニングサービス、⑭ふれあい配食サービス、 ⑤健康すこやか学級、⑥学区ボランティアセンターの設置、①地域の絆づくり支援事業		

ii 学区社会福祉協議会の活動への助成状況

	勧修	山階	鏡山	音羽	安朱	陵ヶ岡	大宅	山階南	百々	大塚	小野	音羽川	西野	助成率
実態 把 握	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		11/13
理 解 促 進	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		11/13
学区社協広報紙の発行	0	0	0		0	0	0		0		0		0	9/13
仲間づくり	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	12/13
地域との交流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13/13
訪問ネットワーク事業	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		10/13
寝具クリーニングサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13/13
ふれあい配食サービス		0					0	0						3/13
健康すこやか学級事業	38	36	10	11	58	15	6	24	19	11	12	18	30	13/13
学区ボランティアセンター	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	12/13

○は助成、健康すこやか学級事業は実施報告回数

(4) 健康すこやか学級事業の推進

①健康すこやか学級

平成 12 年の介護保険導入とともに、京都市からの委託事業として介護予防を目的に各学区で実施しています。学区社協の役員・ボランティアの方々が担い手となって、介護予防に留まらず、住民同士のつながりや地域の絆づくりを広げる、学区社協の重要な活動として進められています。今後、高齢化がますます進む中でより多くの高齢者の介護予防・認知症予防の場として期待されています。

平成28年度は、288回実施され、延べ5,667人の高齢者が参加されました。

②介護予防研修会

i 介護予防研修会

平成 26 年 10 月に京都市社会福祉協議会と京都市老人福祉施設協議会との間で締結された「社会福祉施設の地域貢献・社会貢献の促進に関する協定」に基づき、山科区内の京都市老人福祉施設協議会加入施設に、専門的・技術的支援として協力を得て開催しました。

後半のグループワークでは、すこやか学級の運営上の課題、介護予防の取組やレクリエーションの企画について、市老協加入施設職員を交えて意見交換を行いました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 11 月 24 日 (木)	区社協	1. 健康すこやか学級について 2. お話「認知症あんしんサポーター養成講座」 山科区社会福祉協議会 職員 小原奈重 3. 京都市老人福祉施設協議会との社会福祉施設の 地域貢献・社会貢献の促進に関する協定について 4. 情報・意見交換	38名 6施設 7名

ii 実務者研修会

平成 29 年度からの会計や様式等の変更について、健康すこやか学級の申請報告等の実務担当者を対象に研修会を開催しました。後半は認知症予防のレクリエーションを学びました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 3 月 7 日(火)	区社協	1. 健康すこやか学級事業の新たな取組について 2. 平成 29 年度各種様式の説明と演習 3. 介護予防のレクリエーション紹介 山科中央老人福祉センター 職員 茅原太郎 氏	32 名

(5) 地域の絆づくり事業の推進

学区社協が取り組む「地域の絆づくり事業」(「見守り活動」「居場所づくり」「相談事業」)を推進するため、助成金を交付しました。

	勧修	山階	鏡山	音羽	安朱	陵ヶ岡	大宅	山階南	百々	大塚	小野	音羽川	西野	助成率
相 談 活 動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13/13
見 守 り 活 動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13/13
居場所づくり活動	0	0	0	0								0		5/13

(6) 新・地域の絆づくりモデル事業の実施

学区社協活動のこれまでの成果を踏まえながら、孤立防止や介護予防・認知症予防及び困りごと対応の取組みの拡充を目指す、「新・地域の絆づくりモデル事業」として、高齢者が気軽に集まり、孤立防止や介護・認知症予防を普及させるとともに、男性高齢者も参加しやすい場「すこやかカフェ」の開設と運営を行うモデル学区に、音羽学区を選定し実施しました。平成29年度からはフリースペースとして活動を展開することになりました。

開催年月日	場所	参加
平成29年3月11日(木)	四ノ宮の家	21 名(男性 10 名・女性 11 名)

(7) 地域における見守り活動促進事業への協力

京都市が作成している避難行動要支援者の名簿登載者に同意を得て、地域における日常的な見守り活動の充実のため学区社協に貸し出す「地域における見守り活動促進事業」への協力として、更新された名簿の受け渡しを行いました。

5 ボランティアセンター事業

(1) ネットワーキング事業

①山科ボランティアセンター運営委員会

8月は企画委員会との合同会議として開催しました。10月の役員改選に伴い、学区社協、当事者団体、ボランティア団体、社会福祉施設、学校等の関係者で組織する委員会に再編し、区内のボランティア活動の振興・支援方策とボランティアセンター事業のあり方についての検討を行いました。

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 8 月 25 日 (木)	区社協	1. 山科区社協会長表彰審査について 2. 第 22 回山科社会福祉大会について 3. 平成 28 年度役員研修会について 4. 役員等退任感謝状贈呈基準について 5. 広報紙 Be-Vo (通常号) について 6. 区ボランティアセンター事業について 7. 山科区総合防災訓練について 8. 山科総合福祉会館会議室・ボランティア室・ロッカー・コピー機の利用、備品の貸出について
平成 29 年 2 月 23 日 (木)	区社協	 1. 副委員長の指名について 2. 平成 28 年度山科区ボランティアセンター事業について 3. ちょいボラ・区ちょいボラ隊について 4. 平成 29 年度山科区ボランティアセンター事業について

②山科ボランティアグループ連絡会への支援

山科区内で活動するボランティアグループで結成する山科ボランティアグループ連絡会では、連絡会加入団体のメンバーが会議を行い、お互いの情報交換・ネットワークづくりを図るとともに、各種ボランティア講座の企画・運営や、研修会を実施しました。新たに、特定非営利活動法人チャイルドライン京都の加入がありましたが、プラスの会が退会されました。また、連絡会の広報のためクリアファイルを作成し、ボランティア講座やぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科、山科社会福祉大会などで、ボランティア活動やグループ紹介などの啓発活動を行いました。

連絡会加入団体に対して、年間を通じて会議室やボランティア室の利用をはじめ、活動推進に協力しました。

i ボランティアグループ連絡会

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 4 月 18 日 (月)	区社協	1. ボランティアグループ連絡会について 2. ボランティア関連年間事業計画概要について 3. ボランティア基礎講座について 4. ボランティアグループ連絡会研修会について 5. その他
平成 28 年 6 月 13 日 (月)	区社協	1. ボランティア基礎講座について 2. ボランティアグループ連絡会研修会について 3. ボランティアグループ連絡会 加入促進について 4. ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科について 5. その他
平成 28 年 10 月 17 日 (月)	区社協	1. ボランティア基礎講座 振り返りについて 2. ボランティアグループ連絡会研修会(認サポ)振り返りについて 3. ぐるっとふれあいまちフェスタ in 山科について 4. その他
平成 28 年 12 月 19 日 (月)	区社協	1. 新規加入について 2. ぐるっとふれあいまちフェスタ 振り返りについて 3. 平成 29 年度ボランティアグループ連絡会年間スケジュール (素案) 4. その他
平成 29 年 2 月 6 日(月)	区社協	1. 山科ボランティアグループ連絡会 新規加入の可否について 2. 平成 29 年度山科ボランティアグループ連絡会について 3. ボランティアグループ連絡会研修会について 4. ボランティア基礎講座について 5. ボランティアグループ連絡会 クリアファイルの作成について 6. ボランティアグループ連絡会交流会について 7. その他

ii ボランティアグループ連絡会 研修会

研修内容は連絡会において協議し、要望のあった認知症あんしんサポーター養成講座としました。ボランティアグループ連絡会 4 団体から 10 名の参加がありました。連絡会内部の研修とはせず、区社協会員施設にも参加を呼びかけたほか、山科中央老人福祉センターと山科老人デイサービスセンターにも協力を依頼し、利用者やボランティアに広報するとともに、日常生活自立支援事業生活支援員からも参加がありました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 8 月 27 日 (火)	区役所	お話:認知症あんしんサポーター養成講座 講師:京都市山科区社会福祉協議会 職員 中村亮太	34名

iii ボランティアグループ連絡会 啓発事業

山科商店会、山階児童館、山科合同福祉センター、山科青少年活動センター、山科中央老人福祉センターと区社協が協働で開催する、ステージ発表や子どもの遊びコーナーなど誰もが楽しめるイベント「ぐるっとふれ愛まちフェスタ in 山科」において、ボランティアグループ連絡会は区社協とともに、遊びコーナー等に訪れた子ども連れの若い家族を対象に、連絡会の周知やボランティア活動に関する啓発を行いました。また、山科まちかど音楽祭に協力し、地域の音楽愛好家に表現の場を提供しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 11 月 6 日 (日)	区社協	バルーンアート・遊びコーナー	140名

(2)情報の収集・啓発事業

①山科ボランティア情報

機関誌「Be-Vo」に「山科区ボランティアセンターだより」を掲載し、全戸配布することで、区民へのボランティア活動の啓発に取り組みました。また、学区社協の協力のもと広報物の回覧等を行いました。必要に応じて、市民新聞区民版をはじめ、新聞等のマスコミ機関を通じての情報発信や、京都市福祉ボランティアセンター、京・福祉の研修情報ネットに依頼し、月刊誌「ボランティアーズ京都」やメールマガジンでの情報発信を行いました。

②山科ボランティアガイド

ボランティア活動の振興を目的に、ボランティア活動の基礎知識や、ボランティアグループの活動紹介等を掲載し、ボランティア基礎講座参加者を中心に配布しました。

③ホームページ

区社協ホームページを活用して、各種ボランティア講座の案内やボランティア募集を行いました。

(3) 人材育成·活動参画促進事業

①ボランティア活動基礎講座

ボランティアグループ連絡会によるボランティア活動に関するお話と、ボランティアグループ・福祉施設の活動紹介を行う講座を開催しました。区社協会員の福祉施設にも協力を呼びかけ、4 施設の参加がありました。受講者は21名で、ボランティアグループ連絡会加入団体からの参加者は7名、福祉施設からの参加者は3名でした。また、ボランティア活動につながるようボランティア活動体験デーを11団体・施設で19日間設定し、5名が6団体・施設で体験しました。開催にあたり、山科中央老人福祉センターと山科老人デイサービスセンターにも協力を依頼しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 7 月 11 日 (月)	区社協	・お話「やってみたい!なんとかしたい!ほっとけない!に動き出そう!~ボランティア活動の魅力~」 山科ボランティアグループ連絡会 副代表 小松世梨子 わの会 西谷千賀子 京都市手話学習会「みみずく」山科支部 塚本晴美 ・ボランティア体験デー説明 ・活動紹介「山科区のボランティアグループ・市民活動、 福祉施設のボランティア ~こんな魅力・やりがいがいっぱい!~」	31名

ボランティア活動体験デー

団体名	開催日	場所	内容	参加
タンタンおもちゃライブラリー	7/24 (日)	青少年活動センター	レクの補助等	0名
わの会	8/4 (木) 8/18 (木)	保健センター	デイケア	1名
要約筆記サークルかたつむり	7/24 (日)	身障会館	定例会	0名
京都生協くらしの助け合いの会	8/10 (水)	福祉会館	定例会	0名
手話学習会みみずく山科支部	昼 7/24 (水) 夜 7/28 (木)	身障会館	定例会	1名
そらの木デイサービスセンター	8/8 (月) 8/26 (金)	そらの木 デイサービスセンター	レクの補助等	0名
山科工房	8/1 (月) 8/2 (火)	山科工房	作業の補助等	0名
山科中央老人福祉センター	8/2 (火)	山科中央老セン	レクの補助等	1名
オリーブホットハウス	7/25 (月) 7/26 (火)	オリーブホットハウス	作業の補助等	1名
あそびのひろば	7/29 (金) 8/2 (月) 8/19 (金)	東総合支援学校 東総合支援学校 小野小学校	見守り等	1名
フリースペースみんなの家★山科 こどものひろば	8/1 (月) 8/29 (月)	こどものひろば	話し相手	1名

②視覚障害者ボランティア入門講座

視覚障害者ボランティア入門講座を、山科身体障害者福祉会館主催、区社協が共催し、京都府視覚障害者協会と京都市山科視覚障害児者協会の協力を得て開催しました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 6 月 25 日 (土)	身障会館	・障害当事者としての体験談と、街で視覚障害者を見かけた時にどのような声かけ、お手伝いをしてもらえたら嬉しいのかについて講義・点字の歴史、点字の基礎「あいうえお」などの50音の打ち方、点字器による文字記入	9名
平成 28 年 7 月 2 日 (土)	身障会館	・手引きについてのレクチャー ・アイマスク着用にて利用者相互、視覚障害当事者に対する 手引き歩行体験(館内・館外) ・盲導犬の利用について(当事者からの講演)	9名
平成 28 年 7 月 9 日 (土)	身障会館	・点字名刺の作成 ・視覚障害者に関わるボランティア活動のお知らせ ・交流会(受講の感想、講師者視覚障害者への声かけなどにつ いての質問) ・修了証の受渡し	9名

③やましなふれあい手話講座

手話講座を、区社協主催、山科身体障害者福祉会館と共催し、聴覚障害者協会山科支部と手話学習会みみずく山科支部の協力で開催しました。手話を学びながら、聴覚障害者との交流と理解を深めました。

ふれあい手話講座 昼の部 (全6回)

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	区社協	講座① 名前	13 名
平成 29 年 2 月 1 日 (水)	区社協	講座② 数字	13名
平成29年2月8日(水)	区社協	講座③ 家族・仕事	13 名
平成 29 年 2 月 15 日 (水)	区社協	講座④ 趣味	13名
平成 29 年 2 月 22 日 (水)	身障会館	講義「聞こえない人の体験談」 「聞こえない人の暮らしについて」 講師:京都市聴覚障害者協会山科支部	12名
平成29年3月1日(水)	身障会館	講座⑤ 交流会	11 名

ふれあい手話講座 夜の部 (全6回)

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 1 月 19 日 (木)	区社協	講座① 名前	14名
平成 29 年 1 月 26 日 (木)	区社協	講座② 数字	12名
平成 29 年 2 月 2 日 (木)	区社協	講座③ 家族・仕事	11 名
平成 29 年 2 月 9 日 (木)	区社協	講座④ 趣味	11名
平成 29 年 2 月 16 日 (木)	身障会館	講義「聞こえない人の体験談」 「聞こえない人の暮らしについて」 講師:京都市聴覚障害者協会山科支部	10名
平成 29 年 2 月 23 日 (木)	身障会館	講座⑤ 交流会	11名

④やましな要約筆記ボランティア入門講座

中途失聴者・難聴者への理解を深める要約筆記入門講座を、区社協主催、山科身体障害者福祉会館と共催し、中途失聴者・難聴者協会山科支部と要約筆記サークルかたつむりの協力で開催しました。京都市主催の要約筆記者養成講座受講へのきっかけと位置づけ、要約筆記について学ぶとともに、難聴者との交流を深めました。

要約筆記ボランティア入門講座(全2回)

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 2 月 18 日 (土)	区社協	講義&実技 ・要約筆記の概要・聴覚障害に関する基礎知識・よみやすく書く 京都市中途失聴・難聴者協会会員 体験発表 講義&実技 ・正しく伝える技術・早く書く技術	27 名
平成 29 年 2 月 25 日 (土)	区社協	講義&実技 ・筆談、ノートテイク 講義&実技 ・話し言葉の特徴と短く書く技術・やってみよう! 要約筆記サークル「かたつむり」紹介 京都市「要約筆記者養成講座」紹介 交流会	20 名

⑤知ってみよう!触れてみよう!体験!ボランティア講座〜知的障がいのある人とともに知的障がいのある人たちと理解促進及び交流、さらに支援する人材育成を目的として講座を開催しました。区内の福祉施設、ボランティア・当事者団体(8 施設・団体)の協力のもと、知的障がいのある人やボランティアに関する基礎知識、本講座の受講をきっかけに活動しているボランティア等の体験談、施設・団体でのボランティア体験とふりかえり、活動先紹介等を盛り込みました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 29 年 2 月 11 日 (土)	区社協	1 お話 知的障がいのある人のボランティアについて 講師:京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」 所長代理 中村嘉男 氏 2 ボランティアインタビュー (1) ボランティアの楽しさ・やりがい 京都市山科障害者デイサービスセンターぶらんこ ボランティア 山西光代 氏 (2) "得意"を活かしたボランティア 生活介護事業所やましなの里 ボランティア 西川すみ枝 氏 (3) ボランティアに留まらず仕事に NPO 法人わくわく 職員 藤坂行広 氏 3 体験先紹介	9名
平成 29 年 3 月 11 日 (土)	区社協	1 体験振り返り 「これでできる!ボランティア〜体験をはじめの一歩に〜」 2 施設・団体からの活動紹介	3名

ボランティア体験先施設と参加者数

施設名	参加	施設名	参加
京都市やましな学園	1名	社団法人京都手をつなぐ育成会山科工房	0名
京都市山科障害者デイサービスセンターぶらんこ	2名	太陽クラブ	1名
新明塾山科教室	0名	山科タンタンおもちゃライブラリー	0名
生活介護事業所やましなの里	0名	合計	4名

⑥中高生の福祉体験事業(山科ユースアクション)

中高生に夏休みを利用した3~5日間の福祉体験の機会を提供し、「福祉やボランティア活動への関心を持つきっかけづくり」「地域の福祉施設、またその利用者について理解することで地域の生活課題を知る」「地域活動やボランティア活動、またそれに関わる方たちの思いを理解する」ことを目的に山科青少年活動センターと共催で実施しました。

体験プログラムとして、地域活動体験コース(1 コース)と福祉施設コース(45 コース)の 2 つを設定し、福祉施設コースを、障害者施設(3 施設)、高齢者施設(19 施設)、児童施設(23 施設)の 3 つの種別に分けました。27 名(内訳:中学生 23 名、高校生 4 名)の参加があり、実施期間を 2 つに分け、区内 14 ヶ所の福祉施設で福祉体験を行いました。事前研修で関する注意事項や心構え、体験への期待等の共有を行い、事後研修では体験を振り返りました。体験終了後は、参加者の体験感想文を集約し、感想文集を発行しました。

山科ユースアクション 2016

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 7 月 21 日 (木)	青少年 活動センター	学習(事前研修)全体オリエンテーション活動先別オリエンテーション
A 日程:7月22日(金)~7月27日(水) B 日程:7月28日(木)~8月2日(火) (期間中3~4日間)	各活動先	体験 地域活動体験コース (フリースペース) 施設福祉コース (障害・高齢・児童)
平成 28 年 8 月 5 日(金)	青少年 活動センター	交流(事後研修) 活動の振り返り 修了証授与

体験先施設と参加者数

施設名	参加	施設名	参加
山科障害者授産所	0名	勧修児童館	0名
やましな学園	0名	山階児童館	0名
山科障害者デイサービスセンター	0名	山階南児童館	0名
特別養護老人ホーム長楽園	0名	花山児童館	0名
特別養護老人ホーム東旺苑	0名	大塚児童館	0名
特別養護老人ホームヴィラ山科	1名	小野児童館	0名
特別養護老人ホーム山科苑・デイサービスセンター山科苑	0名	鏡山保育所	2名
勧修老人デイサービスセンター	0名	万因寺保育園	0名
百々老人デイサービスセンター	0名	西野山保育園	0名
山科老人デイサービスセンター	0名	なかとみ保育園	1名
日ノ岡老人デイサービスセンター	0名	西念寺保育園	3名
洛和デイセンター音羽	0名	永興小金塚保育園	1名
洛和デイセンター音羽の里	0名	山科保育園	2名
デイサービスセンターひびき	0名	おおやけこども園	0名
山科積慶園デイサービスセンターぬくもり	0名	安朱保育園	2名
老人保健施設いわやの里	0名	こばと保育園	3名
介護老人福祉施設おおやけの里	0名	陵ヶ岡保育園	3名
山科中央老人福祉センター	1名	山階保育園	0名
デイサービスセンターみささぎ	0名	椥辻保育園	4名
西野の家「はなさんち」通所介護事業所	0名	さくら保育園	0名
特別養護老人ホームそらの木・そらの木デイサービスセンター	0名	ももの木学園	2名
香東園やましな	1名	地域福祉推進委員会フリースペース	0名
山科児童館	0名		
百々児童館	1名	合計	27 名

(4) 相談・コーディネート事業

①ボランティア活動に関する相談対応

福祉総合相談事業の中でも、ボランティア活動に関する相談について情報提供やコーディネートを行いました。

		i	
			ボランティアしたい
ボランティア相談件数 合計	115 件	内訳⇒	ボランティアしてほしい
			その他

②知恵シルバーセンターを活用したコーディネート

知恵シルバーセンター事業の受付センターとして普及啓発に努めました。新規登録団体は1件、受付・ 調整した件数は7件でした。

(5)活動振興援助事業

①ボランティア活動資材の整備及び貸出

会議室の利用、ボランティア室・ロッカー・印刷機等の利用、備品の貸出について、規則を整理・整備しました。ロッカー利用については新規希望団体にも利用しやすいよう整理し、平成 29 年度の利用をボランティアグループ連絡会加入団体や区社協会員等に案内しました。

学校等から、福祉教育やボランティア学習で使用する車いすやアイマスク等貸出の依頼に対応しました。また、区民への車いすの貸出も行いました。

活動資材	貸出点数	活動資材	貸出点数
車いす	91 点	マイク・アンプ	4 点
アイマスク	50 点	スピーカー	0 点
プロジェクター		点字器	0点
スクリーン	12 点	ビデオテープ	0 点
ビデオデッキ	0点	図書	0 点
OHP、略字表	0点	貸出	3件数 83 件

会議室等貸出	件数
ボランティアルーム	277 件
会議室	65 件
印刷機	177 件

24 件

39 件 52 件

②福祉の保険の取次

ボランティア活動中の偶発的な事故について補償する「ボランティア保険」、「福祉行事保険」、「まご ころワイド(福祉事業者総合補償制度)」の取次を行いました。

保険種類	件数	加入人数
ボランティア保険	225 件	2,962 名
福祉行事保険	288 件	12,475名
まごころワイド	26 件	

③ボランティア団体活動助成

ボランティアグループへの支援として、共同募金配分金を財源に、連絡会加入団体を対象とした活動助成を実施しました。

24771 - 2 17 - 1 - 0		
団体名	助成内容	助成額(円)
山科タンタンおもちゃライブラリー	広報紙「タンタン通信」発行	30,000
わの会	会報誌作成費用の一部	10,000
沢ネット	ボランティア保険料	10,000
京都市要約筆記サークル「かたつむり」	要約技術研鑽のための研修	30,000
京都生協くらしの助け合いの会	総会・例会等諸会議の運営費用	10,000
特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば	広報紙「コッペパン」発行	30,000
親子支援ネットワーク♪あんだんて♪	広報紙「あんだんて通信」発行	30,000
京都市手話学習会「みみずく」山科支部	聴覚障害や手話に理解を深める研修の開催費用	30,000
	8団体 合計	180, 000

(6) 災害対策のための環境整備事業

①山科区防災会議への参画

山科区役所区民部総務課が主管する山科区防災会議に参画しました。

開催年月日	場所	内容
平成 28 年 6 月 18 日(木)	区役所	・山科区防災会議規約改正について ・山科区総合防災訓練について ・その他

②山科区災害ボランティアセンター設置・運営訓練

③災害時要配慮者支援に関する研修・訓練

災害時に災害ボランティアセンターを円滑に運営できるよう、山科区総合防災訓練において、災害ボランティアセンターの啓発を主として、設置運営訓練を実施しました。

災害ボランティアサポーター、京都橘大学の学生の協力を得て、区災害ボランティアセンターの運営スタッフの役割や機能、地域で把握した要配慮者のニーズを災害ボランティアセンターにつなげる様子を、フロー図やシナリオ形式で見ていただくことにより参加者の理解を促進しました。

開催年月日場所		内容		
平成 28 年 11 月 13 日(日)	勧修小学校	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ・要配慮者ニーズ把握		

④東日本大震災避難者の支援

東日本大震災避難者が月1回で開催する茶話会を支援しました。司法書士会、NPO法人和、ほっこり通信、NPO法人鍼灸地域支援ネット、京都精神保健福祉協会、宮城県大阪事務所等と連携して個別相談への対応と支援を行いました。避難者への市営住宅の無償提供が5年間で終了することに併せて、地域活動や地域の居場所活動への参加を促す支援や福祉施策関連の相談窓口へのつなぎへと支援の仕方を移行しました。

今後は、避難者茶話会は、福島県の避難者支援を受託している京都精神保健福祉協会が引継ぎ、一部定住の準備を終えていない等支援継続中の方々を支援するために継続されることとなりました。

6 セーフティネット事業

(1) 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

①普及啓発

事業の利用を必要とされる方への周知が図られるよう、関係機関や団体への説明会等を行いました。

i 新任生活保護ケースワーカー研修会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 7 月 12 日 (火)	区役所	・日常生活自立支援事業について ・生活福祉資金貸付制度について	16名

ii 山科区居宅介護支援事業所連絡会説明会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成28年7月27日(水)	区役所	日常生活自立支援事業(地域権利擁護事業)について	30名

②相談対応

各関係機関から寄せられる相談に随時対応しました。ケースの緊急度に応じて相談対応をするとともに、福祉事務所とは申請者の緊急度に応じて支援できるよう連携を図りました。

i 月別相談·契約·解約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	2	9	6	5	3	3	2	4	10	4	3	4	55
契約	1	1	1	6	2	3	6	1	2	3	3	2	31
解約	3	3	0	0	4	3	0	2	3	5	0	0	23

③サービス提供

i 対象者別契約件数

	高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
実動件数 (前年度末)	42 件	11 件	12 件	5 件	70 件
契約件数	23 件	1件	7件	0 件	31 件
解約件数	18 件	1件	3件	1件	23 件
実動件数	47 件	11 件	16 件	4件	78 件

ii 延べ支援回数 1,865 回 (昨年度末 1,886 回)

④生活支援員の育成

i 生活支援員養成研修

平成27年度末の登録更新により定年等で20名が辞められ、平成28年度は47名の生活支援員で始まりましたが、市社協で実施された生活支援員養成研修への周知を積極的に行うことで、山科区からは23名の申込みがあり、うち16名が生活支援員に登録されました。現在、生活支援員は63名が登録され、うち45名がケースを担当して活動しています。

ii 生活支援員交流会

生活支援員のスキルアップと利用者への理解を促進するために交流会を実施しました。

		·	
開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 6 月 17 日 (金)	区社協	・京都市の社会福祉協議会について ・平成27年度日常生活自立支援事業報告・共有事項 ・意見交換	9名
平成 28 年 10 月 21 日 (金)	区社協	・平成 28 年度日常生活自立支援事業進捗の報告について ・事例報告 ・意見交換	22 名
平成 29 年 2 月 17 日 (金)	区社協	・平成28年度日常生活自立支援事業 共有事項・事例報告・意見交換	12名

iii 生活支援員ニュース

生活支援員の意識向上と支援員活動のフォローアップを目的に情報紙「支援員通信 やましな・ぶどう通信」を発行しました。支援員活動に必要な情報を定期的に伝えて利用者支援を充実させること、また支援員同士がつながり、お互いに情報交流できるよう努めました。

発行時期	号	内 容
平成 28 年 4 月	第 15 号	・事務局職員・担当職員の紹介 ・支援記録の提出について ・第1回生活支援員交流会の案内 ・年金、生活保護費の支給日について
平成 28 年 7 月	第 16 号	・警報等発令時の支援について ・第1回生活支援員交流会の報告 ・第2回生活支援員交流会の案内
平成 28 年 10 月	第 17 号	・年末年始の支援について・第2回生活支援員交流会の報告・第3回生活支援員交流会の案内
平成 29 年 3 月	第 18 号	・学区別の実施状況について ・第3回生活支援員交流会について ・支援記録の訂正及び支援時の通帳コピーについて

(2) 生活福祉資金貸付事業

①生活福祉資金貸付調査委員会

開催年月日	場所	内 容
平成 29 年 2 月 24 日 (金)	区役所	1. 副委員長の指名について 2. 平成 28 年度事業の進捗状況について 3. 学区民協への事業説明について 4. 借受世帯に対する相談・償還対応について

②普及啓発

事業の利用を必要とされる方への周知が図られるよう関係機関への研修会を開催するとともに、民生 委員の改選と併せて各学区での事業説明を行いました。

i 新任生活保護ケースワーカー研修会

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 7 月 12 日 (火)	区役所	・日常生活自立支援事業について ・生活福祉資金貸付制度について	16名

ii 学区民生児童委員協議会での事業説明

開催年月日	学区	場所
平成 29 年 2 月 22 日 (水)	勧修	勧修小学校
平成29年2月23日(木)	安朱	自治会館
平成 29 年 2 月 23 日 (木)	大塚	自治会館
平成 29 年 2 月 28 日 (火)	音羽川	音羽川小学校
平成 29 年 3 月 24 日 (金)	百々	自治会館
平成29年3月27日(月)	大宅	大宅小学校
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	小野	小野小学校
平成29年3月29日(水)	陵ヶ岡	陵ヶ岡小学校

[※]山階、鏡山、音羽、山階南、西野は平成29年度4月実施

③相談対応

山科区における貸付相談件数は、伏見区に次いで多い行政区となっています。貸付項目の中では、教育支援資金の相談が全体の約7割を占めており、低所得世帯の子どもたちが高校、大学へ進学する際の重要な制度となっています。

	資金の種類	相談件数	申請件数
	生活支援費	21 件	5 件
総合支援資金	住宅入居費	2 件	0 件
	一時生活再建費	2件	0 件
臨時特例つなぎ資金		2件	1 件
	生業費	4件	0 件
	技能習得費	0 件	0 件
	住宅	1件	0 件
	福祉用具購入	0 件	0 件
	障害者自動車購入費	1件	0 件
	中国残留邦人等国民年金追納費	0 件	0 件
 福祉資金	療養費	1件	1 件
佃仙貝立	介護等	0 件	0 件
	災害援護費	0件	0 件
	冠婚葬祭費	0 件	0 件
	転宅費	17 件	5 件
	技能修得支度費	2 件	0 件
	一般福祉費	32 件	10 件
	緊急小口資金(災害特例0件)	24 件	4 件
教育支援資金	教育支援費	149 件	119 件
秋月义1万貝立	就学支度費	149 件	119 件
不動産担保型生活資金	:	2件	1 件
その他		0件	0 件
_	合計	409 件	265 件

④償還支援

償還では、滞納初期の対応に重点を置き、電話相談、訪問による生活状況の確認等を行い、借受人が 計画的に償還できるように支援しました。

		借受人	連帯保証人	民生委員	事務局	合計
●償還相談 合計		170	5	49	312	536
 ① 償還再開 	償還再開	16		5	12	33
	分割申請	39			1	40
	猶予申請	7			1	8
	払込票送付	17	1		5	23
	その他 (問合せ等)	50	2	20		72
② 償還完了	一括償還	13	1			14
	延滞利子免除申請					
③ 電話不在					129	129
④ 連絡不能、行方不明					11	11
⑤ 文書通知					151	151
⑥ 訪問				2		2
⑦ その他	転居	25		20	2	47
	死亡	1	1	2		4
	自己破産	2		•		2

(3) 住居確保給付金支給事業への協力

生活困窮者自立支援事業の制度の一つとして、京都市からの委託を受けて、離職などにより住居を失った方、または失う恐れの高い方に対して、就職に向けて活動することを条件に一定期間、家賃相当額を支給する「住居確保給付金支給事業」への協力を行いました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
受給者数	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	0	15
就活報告回数	5	5	7	8	8	8	5	5	6	6	7	0	70

7 生活支援事業

(1) 福祉総合相談事業

①福祉に関する総合相談の受付

地域福祉活動を推進する方策として、また、地域の身近な相談窓口として福祉総合相談事業を実施し、身近な相談機関として相談機能の充実強化を進めました。平成28年度は379件の相談がありました。

②個別支援

社協ネットワークを活かして地域に出向き、地域の困りごとや個別の生活課題のある人に対し、必要な関係機関とつながりながら相談対応を進めました。また、適宜、地域あんしん支援事業のケースとして選定会議に挙げ、よりよい支援へとつなげました。

(2) チャレンジ就労体験事業への協力

①体験者の支援

稼働能力はあるがすぐには就労が困難であったり、社会参加の機会が必要な生活保護受給者及び生活 困窮者に対して、施設や企業での軽作業等就労体験の機会を提供し、その経験を通じて自立への課題克 服および経済的な自立等にむけたステップアップへと促すことを目的として、平成 25 年度から市社協 が受託し、区社協が協力しています。

No.	体験受入事業所	社会生活自立 目標型	就労自立 目標型
1	山科老人デイサービスセンター	3名	
2	山科中央老人福祉センター		
3	山科老人福祉センター		
4	山階児童館		
5	百々児童館	1名	
6	小野児童館		
7	洛和会ヘルスケアシステム 洛和グループホーム山科小山	1名	
8	社会福祉法人京都身体障害者福祉センター 京都市山科障害者授産所		
9	社会福祉法人積慶園山科積慶園	1名	
10	社会福祉法人レモングラスそらの木		
11	社会福祉法人同和園(伏見区)		1名
12	社会福祉法人オリーブの会		
	合計	6名	1名

・社会生活自立目標型6ヶ月:終了者4名

・就労自立目標型6ヶ月 :終了者1名

・体験中止:1名(理由:一般就労決定のため)

②体験先の開拓

新たな体験受入事業所として、社会福祉法人オリーブの会が登録されました。

(3) 高齢者等見守り活動企業連携事業への協力

高齢者等の見守り活動を重層的に充実させる目的で、「高齢者等見守り活動企業連携事業」において、 平成25年度から市社協が京滋ヤクルト販売、近畿中央ヤクルト販売、京都生活協同組合と協定を結び、 区社協が協力しています。

協定企業	件数
京滋ヤクルト販売	1
近畿中央ヤクルト販売	0 (山科区はエリア外)
京都生活協同組合	3
合計	4

(4) 認知症支援事業

①認知症あんしんサポーター養成講座への協力

開催年月日	場所	内 容	参加
平成28年8月30日(火)	区社協	山科ボランティアグループ連絡会との共催	34名
平成 28 年 11 月 24 日 (木)	区社協	介護予防研修会において開催	38 名

(5) 地域あんしん支援員の活動推進

社会的孤立等の状態にあって福祉的な支援が必要であるにもかかわらず、既存の制度や地域だけでは 対応が難しい福祉的課題を抱える方に対し、行政等の関係機関・地域との連携のもと、寄り添いながら 福祉的な支援につなげる「地域あんしん支援員」の設置が市社協に委託され、平成 27 年度から山科区 にも配置されました。

支援会議で協議した支援方針に基づき寄り添い支援を進め、うち3ケースで生活状況が改善され、支援を終結しました。また、選定会議において新たにケースを選定し、予備調査と寄り添い支援を進めています。

①選定会議

開催年月日	場所	内 容
平成 28 年 9 月 16 日 (金)	区役所	1.ケース選定について (No.8、No.9、No.10)
平成 28 年 12 月 6 日 (火)	区役所	1.ケース選定について (No.11、No.12)
平成29年3月6日(月)	区役所	1. ケース選定について (No.13、No.14)

②支援会議

開催年月日	場所		内 容
平成 28 年 5 月 25 日 (水)	区役所	1. 定期支援会議 2. 支援会議	支援状況と方針の確認について 支援の終結について (No.1)
平成 28 年 9 月 16 日 (金)	区役所	1. 定期支援会議 2. 支援会議	支援状況と方針の確認について 支援の終結について (No.2)
平成 28 年 12 月 6 日 (火)	区役所	1. 定期支援会議 2. 支援会議	支援状況と方針の確認 支援方針の確認 (No.8、No.9、No.10)
平成29年3月6日(月)	区役所	1. 定期支援会議 2. 支援会議	支援状況と方針の確認 支援の終結について (No.6) 支援方針の確認 (No.11、No.12)

③寄り添い支援

		課題と到	達(○:解決	△:改善×:	未着手)		支援状況
No.	ごみ堆積	利用拒否	就労	孤立	困窮	その他	又饭扒仉
1	Δ	Δ					終結
2			0		0		終結
4	Δ	0		Δ			支援継続
5	0				0		支援継続
6		0					終結
7		×		×	×		経過観察
8							対象外
9		Δ					支援継続
10		×			×		支援継続
11	×	×		×			支援継続
12							対象外
13							予備調査中
14							予備調査中

(6) 新しい助け合い活動の推進(地域支え合い活動創出事業への協力)

地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービス等の提供体制を構築する「京都市地域支え合い活動創出事業」が、平成28年5月から市社協に委託されて始まりました。一人暮らしの高齢者や支援を必要する高齢者が増加し、多様な生活支援ニーズへの対応が必要とされる中、医療や介護だけでなく、ボランティアやNPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援サービスを提供していく体制づくりを進めるために「地域支え合い活動創出コーディネーター」が各区社協に配置されました。

区域での事業推進のほか、元気な高齢者をはじめとするボランティア経験のない方等を対象に京都市 社協が受託して開催した「地域支え合い活動入門講座」に協力しました。

①高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会

「居場所」活動支援のための情報交換会を開催し、情報交換会で得た情報や地域へのアセスメントを 行い地域資源のリスト化を進め、そのなかで地域課題の把握に取り組みました。

開催年月日	場所	内 容	参加
平成 28 年 6 月 29 日 (水)	東部文化会館	・京都市地域支え合い活動創出事業について ・高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会について ・平成27年度生活支援サービス実態調査報告について ・区内での活動事例の紹介 ・活動紹介・意見交換	47 名
平成 28 年 11 月 4 日 (金)	東部文化会館	・導入説明・活動紹介・意見交換	52名

②地域支え合い活動調整会議

i 地域支え合い活動連絡会議

サービス創出の企画・支援のために、地域支え合い活動連絡会議を開催して検討を進めました。

開催年月日	場所	内 容
平成 29 年 3 月 16 日 (木)	区社協	1. 事業目的説明 2. 「地域支え合い活動創出コーディネーター」の配置について 3. 地域支え合い活動調整会議の開催と地域ケア会議の関係について 4. 地域支え合い活動創出コーディネーターの取組について 5. 意見交換

③山科区お助け隊事業

各区社協で実施することを検討していた、契約に基づき要支援者等に生活支援サービスを提供する「区お助け隊」は、京都市や京都市社協の動向を踏まえ、区社協では実施しないこととなりました。

<附属明細書>

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。